

<しまね教育振興ビジョン>

- ◆すべての子どもが学びの主人公～一人ひとりを尊重する学校
 - ◆実体験に根ざした本物の教育～地域とともにある学校
 - ◆挑戦心、探求心が育つ学びの環境～子どもも大人も学び成長する学校
- <しまね特別支援教育魅力化ビジョン>
- 「地域の中で障がいのある子どもが持てる力を十分に発揮し、力強く、自分らしく生きる」ことを目指して

<江津市教育大綱>

◇教育ビジョン

ふるさと江津を愛し、豊かな心で、明日を創る人

◇目指す姿

- 1 ふるさと江津で生涯学び続けようとする人
- 2 多様性を認め、自他を尊重する人
- 3 夢と志をもち、未来を切り拓こうとする人

<桜江小学校学校いじめ防止基本方針>

- 1 いじめを許さない学校経営・学級経営・授業づくりによる未然防止
- 2 いじめの発見システムの活用
- 3 いじめの対処システムの実行
- 4 校長によるいじめ解消宣言まで、組織的な取組の継続

<学校教育目標>

よさをみがき 心豊かにたくましく生きぬく子どもの育成

<学校経営目標>みんなで創るきらめく桜江小学校

～自分も楽しく、みんなも楽しく～

- ◆子どもたちにとって安心安全で楽しく通える学校
- ◆日々の授業づくりや学級づくりを大切にしたい学校
- ◆家庭・地域と連携し、信頼される学校

<めざす子ども像>

- 学び合い 高め合う子 ○認め合い ひびき合う子
- きたえ合い すこやかな子 ○ふるさとで学び 夢に向かう子

<学校経営の基本方針>

- (1)「進路保障」を柱とした人権教育を基底に据え、一人一人を大切にしたい教育活動の推進に努める。
- (2)知・徳・体の調和のとれた子どもを育成する。
- (3)家庭・地域と連携・協働しふるさとを大切にする子どもを育成する。
- (4)生徒指導・特別支援教育の視点を大切にしたい授業づくり、学級づくりに努める。
- (5)子どもの安全と安心が保障される教育環境・条件の整備と充実をめざす。
- (6)職員が働きやすく、前向きに仕事ができる校内組織をつくる。

日本国憲法 教育基本法 学校教育法

<小学校学習指導要領>

- ◎主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する。
- ◎豊かな創造性に備え、持続可能な社会の創り手となることが期待される児童に、生きる力を育む。
 - ・知識及び技能が習得されるようにする。
 - ・思考力・判断力等を育成する。
 - ・学びに向かう力、人間性等を涵養する。
- ◎教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていく。(カリキュラム・マネジメント)

<めざす職員像>

- ★優しさ・厳しさ・遊び心(仕掛け)をもった職員
- ★子どもの良い面をとらえ、伝えることができる職員
- ★子ども・保護者・地域との信頼関係を基盤に、支え合い・学び合い・高め合う職員集団

<桜江小学校 人権宣言>

「仲間を大切にし、思いやりのある行動をしよう」
☆じぶんからあいさつをしよう☆「ありがとう」「ごめんなさい」を言おう

取組を具現化するための各チームの具体的施策

☆総務,事務部（環境づくり）

- 学校危機管理の組織的取組
 - ・学期毎の避難訓練、危機管理研修の実施、管理マニュアル確認
- 働き方改革
 - ・職員の自己肯定感・満足感・充実感の向上、SSSの活用
 - ・日々の暮らしを楽しむ（ワーク・ライフ・バランス）
 - ・校務支援システムの活用
- 確かな安全管理
 - ・適切な修繕活動
 - ・子ども修繕アンケート
- 整理整頓（みんなで整頓）
- 予算執行状況の周知（節約、裏紙の有効利用等）

☆教務部（学びづくり）

- 基礎基本の定着
 - ・チャレンジタイム（水曜）と学習補充（木曜）の設定と定着
 - ・支援員との密な連絡・調整
- カリキュラム・マネジメントによる総合的な学習の時間・生活科の単元構成の工夫・特別の教科道徳の充実。
- 見通しをもった行事・集会活動計画の実施
- 振り返りと改善を生かす行事運営。
- ICT教育を充実させるための、学校図書館活用（カリキュラムに組み込んだ図書館活用）

☆研究部（授業づくり）

- 校内研究の推進
 - ・校内研究計画の立案と提示
 - ・計画的な研究授業
 - ・職員研修の充実
- 学びの基盤づくり
 - ・学習規律の徹底
 - 学習用具のやくそく、話し方聞き方のあいさつ
- 学力向上
 - ・チャレンジタイムの設定
 - 学力調査の結果をもとにした課題への取組
 - ・家庭学習の充実
 - 家勉強週間の実施、家庭学習の手引きの作成
 - 学年に応じた自主学習の指導
- ICTを活用した授業
 - ・ICTにかかわる校内研修の充実

☆指導部（心・身体づくり）

- さくらえっ子を語る会（情報の共有）
 - ・子ども一人一人を全職員で見守り支える
 - ・子どものよさに目を向ける
- 生活目標の意識化
 - ・委員会と連携した生活目標
 - ・具体的取組のふりかえり→自律的活動へ
- 日頃を鍛える日常指導
 - ・気持ちのよいあいさつ、返事、言葉づかい等
 - ・ペア学年での声かけ
 - 自分たちで並び方・姿勢・服装を改善
 - ・清掃指導の共通理解
- 体づくり
 - ・週1回の朝マラソン（なわとび）の継続
 - ・教科体育での運動量の確保
 - ・マラソン記録会、なわとび集会の開催
- 生活習慣の確立に向けて
 - ・毎学期1回のメディアコントロールウィークの継続実施
 - ・メディア・性に関する指導の充実
- 食育の充実
 - ・望ましい食習慣の確率、残菜0の取組の継続

子どもの「自己有用感」を高めるための継続した取組を基盤として